

長寿社会に向けて

認知症予防について

町長／支援体制の確立に努める



楠木園洋一議員

楠木園 高齢社会に向けて、総合的な推進策や取り組みをどのように進めていくのか。

楠木園 認知症予防への支援、対策をどのように進めていくのか。

町長／支援センターの活用



頭の健康教室（いぬまき荘）

町長 団塊の世代への対策も含めて、地域福祉、経済活動、権利擁護、老人クラブ等の組織活動、伝承や交流活動など、福祉部門のみの施策でなく総合的な取り組みが必要と思われますので、今後検討したいと思います。

町長 認知症高齢者を支えるためには、家族やサービス事業所だけでは限界があり、地域、行政、医療機関、警察、消防などを含めたネットワークづくりが必要であることから、現在、地域包括支援センターで、体制づくりを進めているところであります。



新改幸一議員

集落営農の支援対策は

町長／各種の支援、調査、研究中

新改 集落営農への啓発活動に努力されているが、重点地区への具体的な支援をどのように考えているのか。

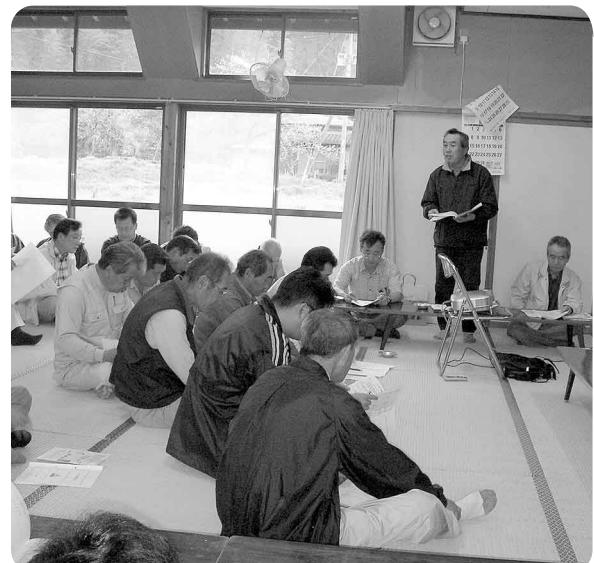
運営補助金制度を考えよ

町長／今後、検討の余地あり

町長 認定農業者や集落営農等担い手による効率的で継続的な営農の仕組みづくりが急務となっています。運営支援としては、各種研究中であり、県や地域担い手協議会と連携して話し合い、農業受託調整等、法人化に向けた支援策も積極的に取り組みます。

町長 認定農業者や集落営農等担い手による効率的で継続的な営農の仕組みづくりが急務となっています。運営支援としては、各種研究中であり、県や地域担い手協議会と連携して話し合い、農業受託調整等、法人化に向けた支援策も積極的に取り組みます。

新改 集落営農への取り組みは、役員をはじめ並々ならぬ苦労がある。3年前後を目指に、町単独の財政支援は考えられないか。



集落営農説明会

町長 集落営農設立後の運営支援は、運転資金の貸付や利子補給等について調整、研究中です。国の補助事業の流れを見ながら検討の余地はあると思います。さつま農協においては、「JA担い手づくり戦略」を9月までに策定される予定と聞いております。